

事業報告書

自 令和 6年 4月 1日
至 令和 7年 3月 31日

1 会務の運営

本法人の円滑な運営を図るため、次の会議を開催した。

(1) 正副会長会議並びに支部長会議

① 令和6年第1回正副会長並びに支部長会議開催

日 時 令和6年9月11日（水）午後1時30分

場 所 老人福祉センター松原会館 集会室2

議 事

ア 第44回蕨市社会福祉大会、第2回わらび社協まつりについて

(2) 理事会

① 令和6年第2回理事会開催

日 時 令和6年5月31日（金）午前10時00分

場 所 蕨市総合社会福祉センター 3階多目的ホール

種 別 通常理事会

議 事

ア 報告第10号 専決処分の承認を求めることについて
令和5年度社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
会計補正予算（第2号）について

イ 報告第11号 専決処分の承認を求めることについて
福祉資金貸付金徴収不能額の欠損処分について

ウ 報告第12号 専決処分の承認を求めることについて
社会福祉法人蕨市社会福祉協議会事務局規程の
一部を改正する規程

エ 報告第13号 専決処分の承認を求めることについて
社会福祉法人蕨市社会福祉協議会蕨指定居宅
介護支援事業運営規程の一部を改正する規程

オ 報告第14号 会長及び常務理事の職務執行状況の報告について

- カ 認定第 1 号 令和 5 年度社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
事業報告認定について
- キ 認定第 2 号 令和 5 年度社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
会計決算認定について
- ク 議案第 21 号 社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
評議員会の招集について

② 令和 7 年第 1 回理事会開催

日 時 令和 7 年 3 月 11 日（火）午前 10 時 00 分
場 所 蕨市総合社会福祉センター 3 階多目的ホール
種 別 通常理事会
議 事

- ア 報告第 1 号 専決処分の承認を求めることについて
社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
職員給与規程の一部を改正する規程
- イ 報告第 2 号 専決処分の承認を求めることについて
社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
軽費老人ホームケアハウス松原管理規程の一部
を改正する規程
- ウ 報告第 3 号 会長及び常務理事の職務執行状況の報告につい
て
- エ 議案第 1 号 令和 6 年度社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
会計補正予算（第 1 号）について
- オ 議案第 2 号 令和 7 年度社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
事業計画について
- カ 議案第 3 号 令和 7 年度社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
会計収支予算について
- キ 議案第 4 号 社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
定款の一部変更について
- ク 議案第 5 号 社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
事務局規程の一部を改正する規程
- ケ 議案第 6 号 社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
職員給与規程の一部を改正する規程

- コ 議案第 7 号 社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
事務決裁規程の一部を改正する規程
- サ 議案第 8 号 社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
育児休業及び介護休業等に関する規程の一部を
改正する規程
- シ 議案第 9 号 社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
ドリーマ松原相談支援事業運営規程の一部を
改正する規程
- ス 議案第 10 号 蕨市公益的法人等への職員の派遣等に関する
条例に基づく取決め書の締結について
- セ 議案第 11 号 委託契約の締結について
- ソ 議案第 12 号 役員等賠償責任保険契約の締結について
- タ 議案第 13 号 社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
評議員選任・解任委員の選任について
- チ 議案第 14 号 社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
評議員会の招集について
- ツ 議案第 15 号 施設長等の選任及び解任について

(3) 評議員会

① 令和 6 年第 2 回評議員会開催

日 時 令和 6 年 6 月 21 日（金）午前 10 時 00 分

場 所 蕨市総合社会福祉センター 3 階多目的ホール

種 別 定時評議員会

議 事

- ア 報告第 1 号 専決処分の承認を求めることについて
令和 5 年度社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
会計補正予算（第 2 号）について
- イ 認定第 1 号 令和 5 年度社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
事業報告認定について
- ウ 認定第 2 号 令和 5 年度社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
会計決算認定について

② 令和 7 年第 1 回評議員会開催

日 時 令和7年3月26日（水）午前10時00分
場 所 蕨市総合社会福祉センター 3階多目的ホール
種 別 臨時評議員会
議 事

- ア 議案第 1 号 令和6年度社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
会計補正予算（第1号）について
- イ 議案第 2 号 令和7年度社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
事業計画について
- ウ 議案第 3 号 令和7年度社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
会計収支予算について
- エ 議案第 4 号 社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
定款の一部変更について

2 会員確保と広報啓発活動の推進

地域福祉の推進は、地域住民一人ひとりが福祉活動やボランティア活動に参加することを基本とし、共に支え合い、共に助け合う理念のもと、社協支部と連携し、会員確保と広報啓発活動の推進に努めた。

なお、社協支部で行う会費の集金については、納期を定めず年間を通しての活動とし、感染症予防対策に充分注意した活動をお願いした。

- (1) 社協会費（年会費）一般 1,000 円／口・法人 5,000 円／口

会員種別	会員数	口 数	金 額
一般会員	3,024 人	3,328 口	3,328,500 円
法人会員	81 件	99 口	495,000 円
合 計	3,105 件	3,427 口	3,823,500 円

- (2) 広報啓発活動

- ア 広報紙「わらび社協福祉だより」の発行（共同募金財源）
年3回（5月・11月・1月）全戸配布 36,000 部
- イ はじめてのボランティア体験プログラムメニューチラシの発行
市内学校、公共施設等へ配布
- ウ わらびファミサポ通信及びリーフレットの発行
年4回（4月・7月・10月・1月）会員他、関係機関へ配布
- エ ファミリー・サポート・センター会員募集チラシ付ティッシュ、
ウエットティッシュ及びポスターの配布
年4回（3月・6月・10月・1月）各公共施設・市内医療機関
に配布

- オ 蕨市生活自立相談支援センターチラシの配布・回覧
年3回（7月・11月・3月）各公共施設、企業に配布、町会回覧にて回覧
- カ 手話通訳派遣事務所だよりの発行
5月各公民館等に配布

3 地域福祉の推進

感染症予防対策に充分注意をし、支部活動を実施した。

(1) 支部活動の推進

小地域活動の拠点として、5支部により事業を展開し、地域福祉の推進を図った。

① 支部活動の充実

- 支部助成金 1,250,000円（活動費）
小地域活動助成 210,840円（会費還元金）
事業費補助 1,695,417円（給食、会食会事業費）

② 支部による地域福祉活動の拡充

ア 愛の給食サービスの実施

実施状況（1食600円・調味料1ヵ月2,000円）

支部別内訳

支部名	配食数	実施日
錦町支部	198食	毎月第2～第4火曜日
北町支部	150食	毎週金曜日
中央支部	136食	毎月第1～第4金曜日
南町支部	250食	毎月第2～第4金曜日
塚越支部	203食	毎週金曜日

※ 各支部の状況により手作り弁当と購入弁当を組み合わせるなど工夫をしながら実施した。

イ 会食事業の実施

支部実施状況

支部名	開催日	場 所
錦町支部	令和6年12月6日	総合社会福祉センター
北町支部	令和6年11月15日	北町公民館
中央支部	令和6年10月22日	中央公民館
南町支部	令和6年10月30日	南公民館（交流事業）

塚越支部	令和 6 年 11 月 4 日	東公民館
------	-----------------	------

※ 南町支部は会食をせず購入弁当の持ち帰りで対応した。

ウ 見守り活動事業の実施

各社協支部において、愛の給食を配食する際の安否確認や毎日の声かけ、定期的な訪問による話し相手のほか、適宜、外観からの見守りなど生活環境や健康上の変化を見守り、事故や緊急事態を未然に防ぐため、見守り活動事業を実施した。

見守り対象者数内訳

支部名	男性	女性	合計数
錦町支部	5 人	5 人	10 人
北町支部	2 人	4 人	6 人
中央支部	0 人	7 人	7 人
南町支部	4 人	5 人	9 人
塚越支部	4 人	5 人	9 人
合 計	15 人	26 人	41 人

エ 蕨市地域交流サロンの運営

地域交流サロン実績

支部名	サロン名	開催場所	開催日	開催回数	参加者延べ人数
錦町支部	りんごサロン	松原会館	毎月第2・第4水曜日	17 回	33 人
北町支部	来た!?コミサロン	北町公民館	毎月第2・第4木曜日	21 回	754 人
中央支部	仲良しサロン	中央3丁目旭町町会集会所	毎月第4水曜日	9 回	71 人
塚越支部	ふれあいサロン	けやき荘	毎月第2・第4月曜日	16 回	86 人
合 計				63 回	944 人

(2) 福祉サービス利用援助事業（あんしんサポートねっと）の実施

高齢者や知的障害・精神障害等のある方に対し、地域で安心して生活ができるよう生活支援員が定期的に訪問し、福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理を行い支援した。

① 契約成立件数 0 件

- ② 解約件数 0 件
- ③ 実利用者数 2 人（令和 7 年 3 月 31 日現在）
- ④ 生活支援員数 1 人
- ⑤ 相談援助件数

	本事業に関するもの				その他	合計
	認知症 高齢者等	知的障害者	精神障害者	不明 その他		
a. 問合せ件数 (制度、事業について)	3	0	0	0	0	3
b. 初回相談件数 (初回相談受付)	8	1	1	1	/	11
c-1. 相談援助件数 (a b 以外) 契約前	19	1	1	4	/	25
c-2. 相談援助件数 (a b 以外) 契約後	7	1	15	0	/	23
合計	37	3	17	5	0	62

⑥ 生活支援員活動実施回数

対象	認知症 高齢者等	知的 障害者	精神 障害者	合計
回数	7	0	51	58

(3) ファミリー・サポート・センター事業の実施

子育ての援助を行いたい方と子育ての援助を受けたい方を会員として登録し、会員間による子育ての援助活動を支援することにより、仕事と家庭の両立を図るとともに、地域の子育て支援機能の強化を図り、親が安心して子育てすることのできる環境づくりを推進した。

また、マスクの着用や外出先から帰宅時の消毒の徹底など感染症に充分注意しながら支援活動を実施した。

① 会員数（令和 7 年 3 月 31 日現在）

会員種別	会員数
依頼会員	419 人
提供会員	119 人
両方会員	72 人
合計	610 人

② 援助活動

- ア 事前打合せ件数 46 件 200 人
- イ 援助活動件数 1,184 件

③ 説明会・講習会 2 回 10 人（4 月、7 月は申込なし）

④ 個別説明

平日窓口対応 27人

イベント時対応

・わらび社協まつりにて実施するも申込なし

- ⑤ サブリーダー会議 12回 延76人
- ⑥ 全体交流会 2回 72人
- ⑦ 提供・両方会員交流会 1回 12人
- ⑧ フォローアップ講習会 1回 10人

(4) ボランティアセンターの運営と地域ボランティアの育成

地域福祉の担い手となるボランティアの発掘・育成に努め、活動の充実を図った。

① ボランティア登録数

ボランティアグループ登録数 47グループ (1,457人)

個人ボランティア登録数 127人

② ボランティア保険加入人数 1,675人

③ ボランティア派遣件数

派遣依頼件数 6件

派遣実績 2件

派遣人員 2団体

派遣内訳

派遣先	件数
福祉施設	1件
個人	1件
合計	2件

④ ボランティア育成等に関する講座等の実施

ア 親子向けはじめての手話の開催 (2/9)

開催数 1回 参加延人数 17人

イ 傾聴基礎講座の開催 (2/6、2/20、2/27)

開催数 6回 参加延人数 89人

⑤ ボランティア体験学習事業の実施

2024年夏はじめてのボランティア体験プログラム事業を実施した。

開催期間 8月 参加人数 81人

協力ボランティア7グループ、協力福祉施設8施設

福祉体験学習事業の実施

小学校・中学校と連携し、児童・生徒を対象として、福祉活動を体験、学習することにより、社会福祉への理解と関心を深め、社会連帯意識の高揚を図るとともに、児童・生徒を通じて、家庭及び地域社会

への啓発を図ることを目的として、福祉体験学習事業を推進した。

体験メニュー	延実施回数
手話体験学習会	3回
点字体験学習会	5回
アイマスク・車椅子体験学習会	5回
高齢者疑似体験学習会	6回
福祉体験用具の貸出	2回
合 計	21回

(5) 心配ごと相談所の開設

民生委員の協力をいただき、市民の日常生活上の相談に応じ、地域住民の福祉の増進に努めた。

開設日数 11日
 件 数 1件
 相談員 10人

相談内訳

区 分	件数	区 分	件数	区 分	件数
生 計	0件	離 婚	0件	老人福祉	0件
年 金	0件	医 療	0件	苦 情	0件
住 宅	1件	財 産	0件	職業生業	0件
家 族	0件	保健衛生	0件	そ の 他	0件
児童福祉	0件	人権法律	0件	合 計	1件

(6) 有償ボランティアサービスの実施

支援が必要な高齢者等に対し、感染症対策を継続しながら住民同士の支えあい活動を実施した。

【有償ボランティアサービス事業会員数】

(令和7年3月31日現在)

	北 町	塚 越	南 町	中 央	錦 町	合 計
依頼会員	44人	43人	49人	76人	45人	257人
提供会員	21人	18人	18人	30人	19人	106人
両方会員	1人	0人	0人	0人	1人	2人
合 計	66人	61人	67人	106人	65人	365人

【有償ボランティアサービス事業活動件数及び時間】（令和7年3月31日現在）

活動内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
掃 除	29	40	39	53	47	52	56	59	61	45	43	50	574
	36:00	46:00	43:00	53:30	49:30	52:30	60:30	61:00	68:00	47:00	44:00	52:30	613:30
買 物	26	29	20	26	16	19	25	18	18	19	16	20	252
	27:30	30:30	24:00	29:00	18:00	20:00	26:30	21:00	24:00	19:30	18:00	24:00	282:00
外 出	0	2	0	0	1	2	0	2	0	0	0	1	8
	0:00	4:00	0:00	0	0:30	2:30	0:00	2:00	0:00	0:00	0:00	2:00	11:00
ゴミだし	36	25	27	25	29	27	19	21	23	20	22	23	297
	22:00	12:30	13:30	12:30	14:30	13:30	9:30	10:30	12:30	10:00	12:00	11:30	154:30
話し相手	0	0	3	4	1	2	1	0	0	2	3	3	19
	0	0	5:30	6:00	2:00	3:00	1:30	0	0	3:00	4:30	5:00	30:30
通院付添い	11	7	7	9	7	7	9	8	9	4	3	4	85
	26:30	15:00	19:00	22:00	18:30	16:00	20:00	14:30	18:00	6:30	7:00	6:30	189:30
その他	2	1	3	1	2	2	0	1	0	0	1	1	14
	2:00	2:00	4:00	1:30	2:30	3:30	0:00	1:30	0:00	0:00	0:30	0:30	18:00
合計	104	104	99	118	103	111	110	109	111	90	88	102	1,249
	114:00	110:00	109:00	124:30	105:30	111:00	118:00	110:30	122:30	86:00	86:00	102:00	1299:00

(7) 総合的な権利擁護体制についての検討

- ① 重層的相談支援体制についての検討会の実施
- ② 中核機関に関する勉強会の実施
- ③ 法人後見に関する勉強会及び実施社協への視察実施

(8) 地域福祉活動計画の策定に関わる準備

- ① 蕨市地域福祉計画等策定懇談会の実施
開催数 4回（6/25、9/30、11/25、2/12）
- ② パブリックコメントの実施（12/20～1/9）
- ③ 蕨市地域福祉活動計画等の策定（3月）

4 高齢者福祉事業の推進

(1) 老人福祉センター松原会館の運営

地域で暮らす高齢者の健康増進、教養の向上及びレクリエーションなどの機会を総合的に提供する生涯学習福祉施設として、各種趣味講座や健康教室等の事業を実施した。

- ① 開館日数 251日
- ② 年間利用延人数 6,629人（1日平均 26.4人）
ア 個人 2人

イ	団体	4,064人
	うちクラブ活動団体登録数	令和6年3月 16団体 延べ290人 令和7年3月 17団体 延べ349人
ウ	趣味講座	2,208人(126回)
	3B体操、書道(初級～中級)、デッサンからの絵画入門、 童謡・唱歌、フラワーアレンジ、やさしいヨガとストレッチ	
エ	特別講座(新規)	46人
	折り紙教室 交通安全教室(自転車の交通ルールについて) アロマセラピー教室	
オ	相談事業	4人
	介護個別相談、健康個別相談	
カ	健康教室	79人(5回)
	やさしい筋トレ体操講座 お菓子の相談室(マイナ保険証と高血圧について)	
キ	新春芸能競艶会	95人
ク	その他(運営委員会、心配ごと相談他)	131人

③ 地域との連携等

ア 老人福祉センター松原会館運営委員会の開催(2回)

イ 錦町地区生涯学習フェスティバルへの参加(趣味講座及びクラブ活動団体の作品を展示した。)

ウ 蕨市の指定避難所として、錦町コミュニティ・センター避難所運営協議会へ参加(北町コミュニティ・センター及び蕨高等学校と合同による災害時初動対応訓練に参加した。)

④ 安全・衛生管理

ア 消防計画に基づく消防訓練を実施した。

イ 館内を常に清潔に保ち、手指消毒・検温測定器の設置等により、感染症予防に努めた。

(2) 軽費老人ホームケアハウス松原の受託経営(指定管理者制度事業)

入所者自身の自主性を尊重し、自立生活を側面から支援することを基本に、共同生活の円滑化、入所者の希望を取り入れての季節の催事等、事業

の充実に努めるとともに快適でゆとりある生活をできる限り長く送れるよう休日や夜間、緊急時の対応も含め支援した。

入所者の健康保持を目的に健康診断を実施し、居室内の経年劣化に伴う冷暖房設備等を計画的に修繕するとともに、インターネット媒体等を活用し、広く啓発活動を行い入所者の確保に努めた。

① 利用状況（令和7年3月31日現在）

定 員 27室 30名

(1人用居室24室24名・2人用居室3室6名)

入所者数 21室 22名

(1人用居室20室20名・2人用居室1室2名)

男女別数 男性7名・女性15名

平均年齢 83.9才（男性81.0歳・女性85.2歳）

② 事業実施状況

実施日	事業内容
4月	前期健康相談（入所者全員）
4月26日	藤のお花見で茶話会 18名参加
5月14日	移動スーパー初回訪問（以降毎月第2火曜日訪問）
6月27日	火災避難訓練（夜間想定）19名参加
7月 2日	七夕飾り付け 4名参加
8月 9日	納涼大会（スイカ割り）15名参加
9月20日	秋の交流会 ギター演奏（ボランティア）と合唱 18名参加
10月	後期健康相談（入所者全員）
10月22日	始めよう人生会議（地域包括主催）3名参加
10月24日	マイナ保険証と高血圧（松原会館主催）5名参加
10月31日	ハロウィン茶話会 11名参加
11月 8日	蕨市総合社会福祉センター「消防訓練」14名参加
11月13日	入所者健康診断 19名受診
11月19日	インフルエンザ予防接種 10名接種
12月 6日	クリスマスツリー等飾り付け 5名参加
12月26日	年忘れ会（ショートケーキ提供）
1月 1日	お正月祝い膳（おせち料理）（1日、2日配膳）
1月10日	鏡開き（お汁粉づくり）14名参加

1月24日	水害避難訓練 15名参加
2月28日	給食懇談会 18名参加
3月28日	年度末懇談会・茶話会（新年度事業計画等説明）
【入所選考委員会】	○ 1回開催
【レクリエーション】	○ 毎週火曜日 体操・カラオケ（月1回） 毎週木曜日 塗り絵 毎週金曜日 麻雀
【季節レクリエーション】	○ 各種ゲーム

③ 感染症予防対策及び安心安全対策

ア 平常時から手指消毒等を励行し、食事の時も適切な対人距離を確保し、入浴も複数で入らないなど感染症予防を徹底した。

イ 感染症拡大期や災害発生時に、サービスが継続的に提供できるよう業務継続計画（BCP）を最新の情報に更新し、研修を実施した。

ウ 身体拘束の適正化や高齢者虐待の防止など、施設の諸課題解決に向けた研修及び委員会を実施した。

(3) 高齢者等世話付住宅（シルバーハウジング）への生活援助員の派遣

（錦町2丁目赤田住宅60世帯中、シルバーハウジング24世帯）

生活援助員を派遣し、生活相談・安否確認・一時的な家事援助等のサービスを行うとともに、自立した快適な在宅生活が営めるよう催し物を企画・開催し、シルバーハウジング入居者間はもとより、一般住宅居住者との交流の促進に努めてきた。

① 利用状況（令和7年3月31日現在）

定 員 24室 26名

（1人用居室22室22名・2人用居室2室4名）

入所者数 22室 24名

（1人用居室20室20名・2人用居室2室4名）

平均年齢 74.3歳

② 事業実施状況

実施日	事業内容(参加人員は一般住宅参加者を含む)
4月17日～28日	個人面談週間 22名参加
6月18日	ミニ運動会 12名参加

7月 1日～7日	七夕飾りつけ 10名参加
8月 6日	すいか割り 9名参加
12月20日	クリスマス会 10名参加
1月24日	新春芸能競艶会（松原会館）6名見学

(4) 蕨市第一地域包括支援センター（愛称：高齢者サポートセンター）
の受託経営

蕨市第一地域包括支援センターは、高齢者が住みなれた地域で尊厳あるその人らしい生活が維持できるよう、高齢者やその家族の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行った。

独自事業として今年度より、コロナ禍に減少した社会交流の機会や、介護予防のための運動習慣作りを目的として、「ちょこっと貯筋体操けやき」を新たに開催した。また「体操レクリエーションサロンきらり」では、サロンを通じて高齢者がつながり、普段から交流するきっかけとなったり、認知症初期集中支援チームが介入している認知症高齢者が、通いの場や社会交流につながるきっかけづくりの場となる事が出来た。

市の主催する事業では、フレイル予防教室、からだ健康チェック会、百歳体操まつりの開催・運営協力を行った。

また「後期高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施」として、医療保険課と協力し、健康状態不明者把握事業の対象者の訪問等を行った。

① 総合事業

◎ 一般介護予防事業

ア 介護予防把握事業

- 担当地区高齢者 8,725名
- 介護予防事業対象者把握者数 18名
- 住民運営の通いの場につながった人数 15名

イ 介護予防普及啓発事業

- フレイル予防教室 支援回数 3会場/6回
- からだ健康チェック会 支援回数 3会場/3回
- 出前教室 延参加者 21名(2か所/2回)
- 体操レクリエーションサロンきらり
延参加者 307名(1か所/12回)
- ちょこっと貯筋体操けやき 延参加者 118名(1か所/6回)
- 誰でもサロン 延参加者 147名(1か所/10回)

ウ 地域介護予防活動支援事業

いきいき百歳体操の通いの場が、新たに2会場(ハイデンスなごみの会、いきいき体操ひかり)が加わり10会場となった。さらに4月に新たな会場として「じゃすみん蕨」が加わる事が決定し、準備支援を開始した。

- 介護予防サポーター養成研修等 延参加者 47名(1か所/4回)
- 百歳体操まつり 延参加者 181名(1か所/1回)
- 住民運営通いの場(いきいき百歳体操)参加状況
延参加者 7,150名(10か所/406回)
- 運営支援(再開支援) (11か所/156回)

エ その他の活動

- 健康不明者把握事業対象者訪問 12回/年

② 介護予防サービス計画の作成

ア 指定介護予防事業(要支援状態のケアプラン作成)

ケアプラン作成件数			ケアプラン 委託件数	ケアプラン 新規作成
要支援1	要支援2	計		
715件	1,093件	1,808件	885件	44件

イ 介護予防ケアマネジメント

ケアプラン作成件数				ケアプラン 委託件数	ケアプラン 新規作成
事業対象者	要支援1	要支援2	計		
50件	744件	563件	1,357件	571件	66件

③ 総合相談支援業務

地域の高齢者が、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるようにするため、65歳以上の高齢者の総合相談窓口として、介護保険利用援助のみならず高齢者の健康問題や近隣トラブル、経済・精神的問題、認知症対応等について取り組んだ。

また、昨今独居高齢者の増加に伴い、病院や近隣住民、警察などからの緊急性の高い相談が増えており、早急に支援・対応を行った。

総合相談件数 4,581件 (内初回相談 474件)

相談内訳	介護保険関係	2,907件
	住まい・施設の相談	564件
	福祉用具・住宅改修	435件
	認知症関係	566件

介護予防関係	66 件
医療関係	1,000 件
高齢者福祉サービス	170 件
経済問題	615 件
精神的な訴え	211 件
申請代行	48 件
安否確認	166 件
その他(家族の就労, 葬儀, 不動産売却ほか)	1,064 件

※1 件の相談で、重複する相談内訳あり。

④ 権利擁護業務

困難な状況にある高齢者が安心して生活することができるよう、専門的・継続的な視点から支援を行った。

認知症で身寄りのない高齢者や障害を抱えた家族と暮らす高齢者の相談が近年増えており、高齢者の権利擁護の為、成年後見制度の申請支援を行った。また、障害を抱えた家族への支援については、基幹相談支援センタードリーマ松原と、経済的な問題を抱えている家族への支援については生活自立相談支援センターと協働関わった。

相談件数	299 件
相談内訳	
成年後見制度関係	190 件
高齢者虐待関係	106 件
消費者被害関係	2 件
その他	1 件

⑤ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

多職種相互の連携、協働等による体制づくりや介護支援専門員に対する支援等を行った。

ア 地域ケア会議の開催	5 回
イ ケアマネジャー研修及び交流会の実施	4 回 137 名出席

⑥ 高齢者を介護する家族に対する支援

○ 介護者交流サロン	10 回 52 名出席
------------	-------------

⑦ 任意事業

○ 始めよう人生会議	1 回 23 名出席
○ 成年後見制度講座	1 回 21 名出席
○ おひとり様の老い支度	1 回 44 名出席

⑧ 認知症総合支援事業（認知症地域支援推進員の配置）

昨年認知症サポーターステップアップ講座を受講した方を対象に、オレンジ和楽備を立ち上げ、市とともに1年間を通して活動について話し合いを行った。

- 認知症地域支援推進員配置の周知及び蕨市認知症安心ガイドブックの普及啓発 延対象者数 182名/11回
- 認知症サポーター養成講座 延参加者 48名(4か所/4回)
- 認知症普及啓発イベント 延参加者 21名(1か所/1回)
- 出前講座 延参加者 31名(2か所/2回)
- 多職種協働研修会 延参加者 47名
- 連携会議 16回
- 認知症初期集中支援チーム
(チーム員会議, 同行訪問等) 4回
- 認知症カフェ事業
- 認知症の人とその家族を支援する相談支援・支援体制の構築
- オレンジ和楽備活動 10回

(5) 生活支援体制整備事業の受託

生活支援体制整備事業では、高齢者が住み慣れた地域で安心した生活が維持できるよう、地域における生活支援サービスの提供体制整備に向けた取り組みを推進した。

① 地域ニーズと資源の見える化、問題提起

- ア 地域支えあい協議会を開催
- イ 75歳以上の一人暮らし高齢者を対象に困りごとアンケートを実施
- ウ あるあるわらび元気お散歩ラリー座談会の開催 (全4回)
- エ あるあるわらび元気お散歩ラリー開催 (全2回 延べ30名)
- オ 「まちづくりの会」の実施 (全1回 延70名参加)
- カ 自立支援型地域ケア会議への参加 (集合型開催、全12回)
- キ 蕨市地域交流サロンの運営支援 (4地区)
- ク 蕨市主催の各種健康予防教室へ参加し事業説明の実施
- ケ フレイル予防教室開催後の「修了者の集い」開催 (5地区)

② 資源開発

感染症拡大防止対策を行いながら、事業を実施した。

- ア 生活支援サポーター養成講座を開催 (全2回、8名参加)

- イ あるあるわらび元気お散歩ラリー座談会の開催（全4回）
- ウ フレイル予防教室「修了者の集い」開催
- ③ 関係者のネットワーク化
 - ア 「まちづくりの会」共同開催（蕨市、戸田市、戸田市社会福祉協議会、戸田中央リハビリテーション病院、蕨戸田在宅医療センター、蕨戸田医師会）
 - イ あるあるわらび元気お散歩ラリー協力開催（蕨ガイドの会）
 - ウ 包括的相談支援体制整備連絡会への出席（1回/月）

5 在宅福祉サービス事業の推進

(1) 在宅ケアセンターの実施

在宅ケアセンターでは、居宅介護支援事業、訪問介護事業、訪問看護事業の連携により、利用者及びその家族に対し、住み慣れた地域において自立した生活が送れるよう、在宅福祉サービスの提供を行った。

① 感染症予防対策

サービス提供に際しては、利用者及び従事者の安心・安全のために感染症予防対策を徹底した。

② 業務継続計画（BCP）

感染症拡大期や災害発生時に、サービスが継続的に提供できるよう業務継続計画を最新の情報に更新し、研修及び訓練を実施した。

③ 身体拘束の適正化、虐待防止、各種ハラスメント防止への研修及び委員会を実施した。

(2) 居宅介護支援事業の実施

要介護と認定された高齢者等に対し、可能な限り居宅において自立した日常生活を営むことができるよう心身の状態、有する能力の状況等に応じて適切な保険・医療サービスが多様な事業者から総合的かつ効率的に提供されるよう配慮し、居宅介護支援事業を実施した。

① 居宅介護支援介護度別提供状況

要介護1	854件	
要介護2	592件	
要介護3	263件	
要介護4	145件	
要介護5	112件	計 1,966件（月平均約163.8件）
（加算）		

初回加算 64件 入院時連携 7件

退院退所 1件

特定事業所加算Ⅱ 令和6年4月～令和7年3月

② 介護予防サービス計画作成受託件数

要支援1 48件

要支援2 156件 計 204件（月平均約17件）

③ 認定調査実施状況

更新 67件

区分変更 5件 計 72件（月平均約6件）

(3) 訪問介護事業の実施

日常生活を営むのに支障のある方（高齢者、障害者等）の家庭に対し、ホームヘルパーを派遣して、身体介護、家事援助等の日常生活の支援を行い、居宅で自立した生活を送るのに必要なサービスの提供を行うとともに、移動支援事業においても社会生活上必要な外出及び余暇活動等、社会参加のための外出の移動支援サービスの提供に努めた。

① 介護保険事業（月平均利用実人数 23.4人）

身体介護 153回（102.00時間）

身体生活 123回（117.75時間）

生活援助 693回（597.75時間）

訪サⅠ 271回（202.95時間）

訪サⅡ 437回（399.90時間）

② 障害者総合支援事業（月平均利用実人数 7.8人）

身体介護 121回（99.00時間）

家事援助 189回（182.25時間）

重度訪問介護 0回（0時間）

同行援護 7回（14.50時間）

移動支援 356回（305.50時間）

(4) 訪問看護事業の実施

在宅で療養される方に対して、適確なケアとアドバイスで安心して過ごせるよう支援を行い、看護師に加えリハビリスタッフの充実により、自宅での生活の質の向上に努めた。24時間緊急対応の体制をとり緊急時には夜間、休日でも不安なく過ごせるよう支援した。住み慣れた家で最期まで過ごせるよう、医師の指示による疼痛管理、症状の緩和、精神的ケアを行いご家族と共に安らかな看取りができるよう努めた。残されたご家族のグリーフケアにつ

いても行い、少しでも悲しみが軽減されるような関わりをした。

また、ケアパレットの導入により、報告書等のペーパーレス化を行い、移動時間の短縮等、業務の合理化を図った。

① 訪問看護利用状況（月平均利用実人数 約91人）

訪問総回数	7,160 回
ア 介護保険 看護	4,684 回
予防看護	534 回
イ 医療保険	1,922 回
ウ 在宅がん医療総合診療	20 回（2人）

② 主な看護内容

バイタルサインチェック	清潔ケア	創処置	寝衣・寝具交換	移動の介助
排泄介助	リハビリテーション	褥瘡の予防・処置	経管栄養管理	在宅酸素管理
内服指導	療養・介護指導	麻薬ポンプ管理	食事・栄養指導	ドレーン管理
腎・膀胱瘻管理	バルンカテーテル管理	吸引・吸入	持続皮下注	血糖測定
インスリン注射	PPN 管理	エンゼルケア	ストマ管理	点滴静注管理

(5) その他の在宅福祉事業

① 福祉車両貸出事業の実施

移動が困難な障害者（児）、又は高齢者等に対し、車椅子等で乗車できる福祉車両を貸出し、当該障害者（児）、又は高齢者等の社会生活の利便向上と生活圏の拡大、社会参加の促進を図った。

なお、車両の貸出しの際は、都度、消毒を行い新型コロナウイルス感染症予防対策に努めた。

ア 申請件数 11 件

イ 貸出件数 10 件

② 在宅用福祉機器貸出事業の実施

貸出内訳

種 別	保有台数	貸出件数
車椅子	55 台	延 75 件
ヘルスバッグ	13 台	10 件

6 障害児（者）支援事業の推進

(1) 手話通訳者派遣等事業の実施

感染症予防対策に充分注意しながら聴覚障害者の家庭生活ならびに社会

生活におけるコミュニケーションを円滑に行うため、以下の体制で手話通訳者を派遣した。また、登録手話通訳者選考試験については、3月9日(日)に開催し、1名が合格となり、令和7年度より、登録手話通訳者として委嘱した。

① 手話通訳者派遣事務所の体制

登録手話通訳者 4名 専任手話通訳者 2名(非常勤)

② 手話通訳者の派遣

派遣件数 224件 派遣人員 260人 電話通訳・相談等 80件

依頼内容内訳

ア 聴覚障害者からの依頼 172件

内訳 生活に関すること 30件 医療に関すること 131件

教育に関すること 6件 職業に関すること 0件

その他 5件

イ 行政、団体からの依頼 52件

内訳 会議 6件 講習会 22件

その他(行事等) 24件

③ 手話通訳者の養成

蕨市聴覚障害者協会並びに蕨市登録手話通訳者の協力を得て講習会を実施した。

○ 手話奉仕員養成講習会入門 開催数 20回 参加延人数 142人
(毎週土曜日 4/13~8/24)

○ 手話奉仕員養成講習会基礎 開催数 25回 参加延人数 110人
(毎週土曜日 9/7~2/22)

○ 手話通訳者養成準備コース 開催数 20回 参加延人数 75人
(毎週火曜日 6/4~10/8)

○ 手話通訳者養成講習会については申込がなく中止

④ 会議

以下のとおり会議を開催した。

ア 手話通訳者派遣等事業連絡協議会

イ 登録手話通訳者選考試験審査会

ウ 登録手話通訳者会議

⑤ 各種研修等

登録手話通訳者、専任手話通訳者の技術研鑽のため、以下の研修等を

開催又は参加した。

- 市登録手話通訳者研修会（埼玉聴覚障害者情報センター主催）
- 第38回埼玉集会（埼玉県聴覚障害者協会、埼玉県手話通訳問題研究会共催）

(2) 多機能型事業所スマイラ松原の受託経営（指定管理者制度事業）

多機能型事業所スマイラ松原は、障害者総合支援法に基づく就労移行事業、就労継続支援B型事業、生活介護事業の3つの機能を兼ね備えた多機能型事業所として、利用者一人ひとりの人格や意向を最大限に尊重し、効果的・効率的に多様なサービスを提供してきた。

併せて、地域社会との交流や事業参画により利用者に対する理解と協力を得られるように努め、ホームページや広報誌を通じ情報発信を行った。

また、非常災害・感染症発生時に業務を継続できるよう業務継続計画を最新の情報に更新し、研修及び訓練を実施するとともに、利用者の安心安全の場の確保に努めた。

さらに、虐待防止委員会・感染症対策委員会等を定期的で開催し、虐待防止・身体拘束の適正化・各種ハラスメントの防止への研修を行った。

事業実施状況

実施日	事業内容
4月～毎月	生活指導・宿泊訓練(就労継続B型)
4月16日	第1回保護者会
4月22日～	モニタリング及び個別支援計画説明会
6月25日～27日	蕨市立東中学校ワーキングウィーク受け入れ
7月1日	定期健康診断
7月26日	戸田かけはし特別支援学校福祉事業合同説明会参加
8月	はじめてのボランティア受け入れ
9月～	官公庁受託(敬老祝品配送・記念品袋詰作業)(就労継続B型)
10月10日	Café ふわり1周年記念タンブラー販売
10月15日～	特別支援学校実習受け入れ(就労継続B型)
10月15日	防災訓練(洪水・引き渡し訓練)
10月28日～	モニタリング及び個別支援計画説明会
11月～	社会適応訓練(生活介護)
11月8日	蕨市総合社会福祉センター「消防訓練」
11月11日～	特別支援学校実習受け入れ(生活介護)
11月24日	第2回わらび社協まつり

12月2日～	実習生受け入れ
12月10日	防災訓練(火災想定訓練)
12月24日	クリスマス会(生活介護)
1月7日	入所判定委員会
1月20日～24日	企業実習(就労継続B型)
1月27日～	特別支援学校実習受け入れ(就労移行)
2月25日～	特別支援学校実習受け入れ(就労継続B型)
2月・3月	おやつ作り(生活介護)
3月7日	活動発表会
3月18日	防災訓練(地震想定訓練)
3月21、24日	年度末会食会(就労継続B型)
3月27日	年度末反省会(就労継続B型)

① 生活介護事業

安心且つ安全な環境の中で、心身の安定を図り楽しむ場面の提供に努めた。

運動等のさまざまな活動プログラムを継続実施してきたが、さらに日常のあらゆる場面において、身体機能の維持に繋がる支援を心がけた。

情操活動では、今年度も地域のボランティア団体の協力をいただき、アロマセラピーを行った。また各行事やレクリエーションにおいて季節を感じていただけるように努めた。

社会参加活動としては、館外活動において公共施設で過ごすためのルールやマナーを学ぶ場を提供した。

また、「蕨市障害者週間」の啓発イベントにおいて製作物や自主生産品を展示し、活動を通じて「開かれた施設」として地域との繋がりを構築した。

「仕事をしたい」という利用者及び家族ニーズに応え、簡易作業訓練や自主生産品製作を行い、やりがいや達成感を得られる機会づくりに努めた。

ア 登録者数(3月31日現在) 32人(男21人、女11人)

平均年齢 43歳5ヶ月

延利用者数 6,912人(242日)

○ 入浴サービス 148回

○ 送迎サービス 11,941回

② 就労継続支援B型事業

就労継続支援B型事業は、一般就労が困難な障害のある利用者が、個々の障害に応じた訓練等を行い、自立と社会参加が出来るように支援し、社会性スキルの取得に繋がるように努めた。

昨年度オープンした「c a f éふわり」では、市民の方々に向けて障害がある方への理解の場とするとともに、利用される方にニーズを伺いながらそれに応え、寛ぎの空間になるよう努めてきた。

パン製造・販売事業では、市内公民館や企業でのパン販売のほか、蕨ブランド認定をいただいた「小さな蕨の小さなパン「結」」をきっかけとして障害者の就労事業を啓発するため、市内外の地域イベントに積極的に参加した。また、異業種や学校関係等、様々な分野と積極的に関わり地域と協働する場面を設けた。

受託事業では、官公庁からの委託作業を積極的に受注し、利用者工賃の確保とともに、地域のお役に立てる機会として、利用者の地域参画意識の向上に繋げた。

ア 登録者数（3月31日現在） 15人（男10人、女5人）

平均年齢 45歳6ヶ月

延利用者人数 3,296人（248日）

イ 職業支援及び実績

それぞれの障害状況に応じた作業訓練を行うことで、作業技術スキルを向上させ個々の自信に繋がるように努めた。地域及び企業からのさまざまな作業依頼に応え、繋がりを深めるとともに、責任をもって依頼遂行し対価を得ることにより、工賃の増額に努めた。

○ 事業所内作業

■ パン製造・販売事業

■ 製品（商品）販売事業

飲料類、菓子類、自動販売機

郵便切手類の受注販売（蕨市役所他）

蕨ブランド認定商品の啓発・販売

■ 受託加工事業

ダンボール糊付等内職業務

敬老祝い品配達業務他

○ 事業所外作業

■ リサイクルフラワーセンター事業

■ カフェ事業（c a f éふわり）

■ 老人福祉センター松原会館清掃

※ 工賃支給実績

一人当たりの月平均工賃支給額 51,464 円（支給対象者）

ウ 社会生活力支援

現実的な将来を見据え、個々の実生活に即した生活面の課題を抽出し、地域で生活していく上での必要な日常的スキルを身につけられるように、少人数での宿泊訓練の他、定期的に生活指導を実施した。

日々の作業や生活を通して、接遇、マナー、一般常識など、必要な事柄を生活指導として定期的に時間や機会を設け、社会性が身につくように繰り返し実践した。

エ 就労支援及び実績

蕨市内企業にて実習を行い、就労における課題の抽出と意欲の向上に努めた。

③ 就労移行支援事業

就労移行支援事業では、特別支援学校での説明会参加の他、積極的に実習生の受け入れを行い、利用者確保に努めた。

ア 登録者数（3月31日現在）	0人
平均年齢	17歳10ヶ月（在籍時）
延利用者数	5人（5日）

④ 日中一時支援事業、夜間保護事業

在宅障害者及び障害児のセーフティネットの一環として、日中における活動の場及び夜間における一時的保護の場を提供し、日常的に介護している家族の一時的な休息を目的とする支援活動を行った。

ア 日中一時支援事業

延利用者数	216人
○ 入浴サービス	12回
○ 給食サービス	17食
○ 送迎サービス	207回

イ 夜間保護事業

延利用者数	16人
○ 入浴サービス	16回
○ 給食サービス	32食（朝16食、夕16食）

(3) 障害者福祉センタードリーマ松原の受託経営（指定管理者制度事業）

ドリーマ松原では、障害者福祉センター・地域活動支援センター・障害者就労支援センター・障害者相談支援事業の各事業を様々な職種の専門員等の連携により、市内在住の障害のある方の生活を多方面からサポートし、自立や社会参加の促進を図った。

① 障害者福祉センター

障害者福祉センター事業では、部屋の貸し出しのほか、障害のある方やその家族に対し、生活の向上につながる各種講座を開催と各部屋の貸し出しを行った。講座については、日常リハビリに繋げる事を意識して、体を動かす講座と手先を使う講座等を開催した。

ア 障害者福祉センター部屋貸し出し実績

部屋名	利用回数	部屋名	利用回数
相談室	20回	集会室2	67回
おもちゃのいえ	163回	集会室3	59回
録音室	14回	その他	0回
集会室1（多目的ホール）	19回	計	342回

イ 障害者福祉センター講座実績

実施日数 8日

講座数 8講座（体操講座、トールペイント講座他）

延利用者 48人

※講座終了後にはアンケート調査を毎回実施

② 地域活動支援センター

地域活動支援センターは、障害のある方に機能訓練、社会生活訓練、スポーツ・レクリエーション等の基本事業や創作的活動を提供し、社会との交流促進を図り、自立に向けた地域生活の支援を行った。新しいレクリエーションを取り入れたり、スマイラ松原の売店で販売するための小物作りを行うなど、利用者のニーズに応える活動内容になるよう努めた。

ア 登録者数(3月31日現在) 22人（男9人、女13人）

平均年齢 57.3歳

延利用者数 2,252人（243日）

○ 入浴サービス 659回

○ 給食サービス 2,109食

○ 送迎サービス 2,806回

イ 事業実施状況

実施日	事業内容
4月4、10日	お花見（富士見公園・郷南公園）
6月6～12日	体力測定
11月8日	蕨市総合社会福祉センター「消防訓練」
11月21、22日	社会生活訓練（ボートレース戸田他）
11月24日	第2回わらび社協まつり
12月24、25日	クリスマス交流会（参加者17人）
2月1日	地域交流事業（地活利用者8人）
2月17～21日	避難訓練（水害想定）

③ 障害者就労支援センター

就職支援として企業面接の同行等をはじめ、就職後も安定した生活を続けられるよう職場訪問等の支援を行った。また、離職となった際にも離職手続き等の支援を行い、再就職を目指すための訓練情報提供や施設紹介を行った。必要に応じてオンラインを活用した職場定着支援など、利用者や企業にとって利用しやすい支援を行った。

ア 登録者数(3月31日現在) 22人(通算延登録者数149人)
(身体2人、知的6人、精神13人、その他1人)

就労者数(3月31日現在) 27人(通算延就労者数99人)
(身体2人、知的9人、精神15人、その他1人)

※内訳(就職27人、離職8人)

就職者(職種) 販売品出し業務、水耕栽培、事務補助、清掃業務、介護補助等

支援方法

○ 来所対応	227件	○ 電話対応	1,724件
○ 訪問対応	266件	○ 余暇活動	22件
○ 施設、企業同行	30件	○ その他	34件

イ 事業実施状況

○ 関係機関等連携会議

企業主催雇用障害者就労支援機関連絡会 年5回

県・雇用サポートセンター等主催会議 年5回

○ 余暇活動(地域交流事業含む) 年2回

④ 障害者相談支援事業

障害のある方やそのご家族の相談に応じ、障害福祉サービス等の情報

提供、助言、サービスの利用支援や同行支援、訪問支援、権利擁護など当事者のニーズに基づく支援を行った。

ア 障害者相談支援事業

【支援方法】

○ 来所相談	69 件	○ 電話相談	113 件
○ メール	398 件	○ 訪問	42 件
○ 関係機関	155 件	○ その他	27 件

【支援内容】

○ 福祉サービスの利用	194 件
○ 家計・経済の支援	41 件
○ 健康・医療の支援	55 件
○ 不安解消の支援	368 件
○ 家族・人間関係の支援	115 件
○ その他	234 件

イ 指定特定相談支援事業・障害児相談支援事業

契約者数 202 人（障害者 139 人、障害児 63 人）

計画相談支援・障害児相談支援（計画・モニタリング作成件数）

○ 障害児支援利用計画	71 件（更新含む）
○ 継続障害児支援利用援助	134 件
○ サービス等利用計画	98 件（更新含む）
○ 継続サービス利用支援	325 件

【支援方法】

○ 来所相談	351 件	○ 電話相談	1,101 件
○ メール	369 件	○ 訪問	624 件
○ 関係機関	3,861 件	○ その他	128 件

【支援内容】

○ 福祉サービスの利用	6,110 件
○ 家計・経済の支援	51 件
○ 健康・医療の支援	44 件
○ 不安解消の支援	55 件
○ 家族・人間関係の支援	13 件
○ その他	154 件

ウ 基幹相談支援センター

会議等

○ 自立支援協議会	1 回
-----------	-----

- 相談支援部会 7回
(精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム協議会 1回含む)
- 権利擁護部会 4回
(研修会 2回含む)
- 仕事と暮らし部会 17回
(障害がある方の就労・生活総合相談会 6回含む)
- 子ども支援部会 6回
(医療的ケア児ワーキンググループ 3回含む)

【支援方法】

- 来所相談 49件
- メール 111件
- 関係機関 198件
- 電話相談 135件
- 訪問 2件
- その他 9件

【支援内容】

- 支援困難事例の対応 498件
- 相談支援従事者への助言 7件
- 成年後見制度利用支援事業対応 0件
- その他 0件

エ 虐待防止センター

実対応者数 1人(知的1人)

【支援方法】

- 電話相談 0件
- 関係機関 1件
- 同行 0件
- 訪問 0件
- 来所相談 0件
- 個別会議 0件

【支援内容】

- 通報・届け出の受理 1件
- コアメンバー会議 0件
- 事実確認の援助 0件
- 訪問調査の援助 0件
- その他 0件

オ 地域生活支援拠点等

コーディネーターが主体となり、来年度の始動に向けてガイドラインを作成、事業所説明会を開催するなどの準備を行った。

③ 感染症予防対策及び安心安全対策

ア 障害者福祉センター・地域活動支援センターに関しては、検温、消毒、パーテーション設置、サーキュレーターや空気清浄機の使

用による換気、加湿器等を使用し、安心して利用できるよう努めた。

就労・相談に関しては、消毒や換気等に加え、オンラインも活用しながら業務を行った。

イ 感染症拡大期や災害発生時に、サービスが継続的に提供できるよう業務継続計画（BCP）を最新の情報に更新し、研修を実施した。

ウ 身体拘束の適正化、虐待防止、各種ハラスメント防止への研修及び委員会を実施した。

7 生活困窮者支援事業の推進

(1) 蕨市生活自立相談支援センターの受託経営

蕨市からの委託を受け、現に経済的に困窮し、生活の維持が困難となるおそれのある方々を対象に感染症予防対策に充分注意しながら包括的な相談支援を行った。

① 自立相談支援事業

相談受付件数	185 件
(うち本人特定 87 件、申込件数 67 件)	
※ 相談延べ件数	594 件
プラン策定前支援終了件数	86 件 (初回スクリーニング時)
関係機関との調整件数	58 件
支援調整会議の実施回数	6 回
支援決定・確認件数	9 件
評価実施件数	8 件
生活保護受給者等就労自立 促進事業の利用要請件数	6 件
住居確保給付金相談件数	129 件

② 家計改善支援事業

相談受付件数	7 件
※相談延べ件数	28 件
支援決定件数	3 件
支援延べ件数	41 件

(2) 生活福祉資金の貸付（埼玉県社協貸付制度）

低所得者、障害者又は高齢者に対し、資金の貸付けと必要な相談支援を行うことにより、その経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的

として資金の相談を行った。

また、新型コロナ特例貸付及び生活困窮者自立支援金を利用後なお生活に困窮されている方に対しては、生活困窮者自立相談支援事業をはじめとする各種支援や相談支援窓口の活用を促すなど、適切にフォローアップし、必要な支援を行った。

資金の貸付件数 合計 2,941 件

貸付内訳

福祉・教育・小口資金	貸付中件数	33 件
うち新規	3 件（教育 1 件、小口 2 件）	
総合支援資金	貸付中件数	56 件
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	貸付中件数	4 件
うち新規	1 件	
臨時特例つなぎ資金	貸付中件数	2 件
特例貸付（緊急小口資金）	貸付中件数	857 件
特例貸付（総合支援資金）	貸付中件数	1,989 件

(3) 福祉資金の貸付（蕨市社協貸付制度）

蕨市に住民登録を有する低所得世帯で、臨時的出費又は収入欠如等のため生計を脅かされ又は、そのおそれのある場合に応急的需要を満たし生活の安定と自立の助長を図ることを目的として資金の貸付を行った。

① 福祉資金	2 件	70,000 円
② 法外援護（交通費）	3 件	900 円
③ 当年度貸付償還金	1 件	40,000 円
④ 過年度貸付償還金	29 件（延べ）	164,600 円

(4) フードパントリー事業の実施

感染症及び物価高騰の影響等により、生活に困窮している世帯を対象に食料品や生活用品の配布を実施した。

開催日	開催場所	利用世帯数	自立相談
令和 6 年 6 月 28 日	蕨市総合社会福祉センター	102 世帯	6 件
令和 6 年 12 月 26 日	蕨市総合社会福祉センター	108 世帯	7 件

(5) フードバンク事業の実施

フードセーフティ等を実践する団体の協力や個人のご寄付により集められた食糧を蕨市生活自立相談支援センターにおいて、相談者や各関係機関からの依頼によって、現に経済的に困窮し、生活の維持が困難となるおそれのある世帯に対し、食糧を提供した。

提供世帯 201世帯 世帯人数 242人

8 赤い羽根共同募金運動並びに配分金事業の実施

(1) 赤い羽根共同募金運動の実施

① 赤い羽根共同募金

目標額 5,717,000円

実績額 5,319,032円 (93.0%)

内訳

種別	募金額
戸別募金	4,058,580円
学校募金	132,292円
街頭募金	449,553円
個人募金	110,000円
法人募金	255,000円
職域募金	313,607円
合計	5,319,032円

※但し、寄付者が直接、埼玉県共同募金会へ納付する直納分を含めると5,419,588円 (94.8%)

② 地域歳末たすけあい募金

目標額 6,601,000円

実績額 6,259,569円 (94.8%)

内訳

種別	募金額
戸別募金	6,259,569円
合計	6,259,569円

③ 災害義援金

実績額 62,232円

内訳

名称	募金額
能登半島地震	62,232 円

(2) 共同募金運動の広報啓発

啓発用チラシ、報告用ポスターの配布、掲示

(3) 共同募金配分金事業の実施

① 一般募金（赤い羽根共同募金）配分金事業

ア 点字サークルあじさいと蕨市視覚障害者協会との親睦交流事業等、
各障害児・者団体の行う事業への事業費補助

イ 蕨市お年寄りを敬う会への事業費補助

ウ 各福祉団体への助成（23 団体）

エ 筋ジストロフィー協会療育キャンプを助成

オ 蕨市高校生・中学生ワークキャンプ事業の実施

カ 小地域活動助成（町会への助成）

キ ボランティア連絡会研修会を助成

ク 社協支部研修会補助

② 地域歳末たすけあい募金配分金事業

ア 母子（父子）世帯等在宅対象者への歳末慰問金贈呈

イ 単身高齢者等おせち料理の宅配

ウ 母子（父子）世帯中学校卒業祝金贈呈

エ 社協支部会食事業費助成（前掲）

オ 小地域活動助成（町会への助成）

カ 広報紙「わらび社協福祉だより」11月号、1月号の発行（前掲）

キ 社会福祉大会の実施

ク わらび社協まつりの実施

ケ フードパントリー事業の実施（前掲）

コ 在宅介護者食事利用助成の実施

サ 災害ボランティアセンター用備品整備

シ 社協広報啓発事業の実施

9 社協基盤確立と体制の強化

(1) 自主財源の確保

① 会費の確保（前掲）

② 松原会館敷地内に自動販売機の設置

(2) 組織体制の強化

- ① 社会福祉法人制度に基づく法人経営の整備
- ② 多様な生活支援サービスの提供に向けた組織連携体制の整備
- ③ 関係諸会議、研修会への参加

事務事業検討会、会議・研修会等に関係役職員が出席した。

(3) 災害ボランティアセンターの整備

- ① 災害ボランティアセンター勉強会の実施（6/7）
- ② 災害ボランティアセンター運営訓練の実施（9/28、3/22）

(4) 包括的相談支援体制整備連絡会の立ち上げ

埼玉県下の情勢を踏まえ、令和6年4月より包括的相談支援体制整備連絡会を立ち上げ、法人後見実施に向けて情報収集や検討を行った。埼玉県社会福祉協議会権利擁護センターによる法人後見の勉強会や、既に法人後見を実施している戸田市社会福祉協議会、新座市社会福祉協議会への視察を行った。

また蕨社協ネットワーク会議（地域包括・自立相談・基幹相談の3機関）を開催し、相談に関わる機関の横の繋がり強化に取り組んだ。

10 特別事業

(1) 第44回蕨市社会福祉大会の開催

社会福祉大会では、社会福祉事業功労者へ表彰状、感謝状を贈呈することで祝意をお伝えした。

- ① 期日 令和6年11月24日（日）
- ② 場所 蕨市民会館
- ③ 受賞者 42人（表彰状授与者36個人、感謝状授与者2個人4団体）

(2) 第2回わらび社協まつりの開催

従前「社会福祉センターまつり」、「ふれあい広場」としてそれぞれ行っていたものを統合し「わらび社協まつり」として開催した。

各種イベントや模擬店、ボランティア団体及び福祉事業所等による活動紹介を行った。

- ① 期日 令和6年11月24日（日）
- ② 場所 蕨市民会館、蕨市立中央公民館
- ③ 来場者数 685人
- ④ 参加団体数 31団体（支部5、展示9、模擬店14、イベント3）

事業報告の附属明細書

社会福祉法施行規則第二条の二十五第三項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。

社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
会 長 下 村 純 久